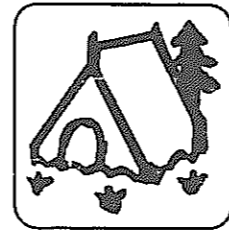


- ▶教育委員会庁舎 (学校教育課・教育相談室 白根地区理科教育センター) ☎373・3171(代) ☎373・3173
- ▶青年教育センター・社会教育課 ☎373・2800(代) ☎372・6055
- ▶中央公民館・白根地区公民館 ☎373・3174
 - ▶新飯田地区公民館 374・2001 ▶小林地区公民館 372・3033 ▶鷺巻地区公民館 362・5711
 - ▶茨曾根地区公民館 375・2035 ▶臼井地区公民館 373・5018 ▶根岸地区公民館 362・6135
 - ▶庄瀬地区公民館 372・2901 ▶大郷地区公民館 280・2043 ▶大通地区公民館 362・1491



公民館・教育 青少年



教 小林地区公民館 ミニ門松づくり 教室

もうすぐ新年です。手作りの門松で新年を迎えてみませんか。

■とき 12月15日(日) 午前10時～
■ところ 小林地区公民館 ■対象者 どなたでも ■定員 16人 ■申込期限 12月6日(金) ■内容 20センチ程度の高さのミニ門松を作ります 講師=徳永徳一さん ■参加費 500円 ■持参する物 わら切りはさみ(花切りはさみも可) ■申込先・問い合わせ 小林地区公民館 ☎372・3033

ひ参加ください。

■とき 12月11日(水) 午後1時30分～4時30分 ■ところ 大通地区公民館 ■指導 渡辺欣次先生(版画家・新潟市) ■対象者 市民どなたでも ■定員 20人 ■参加費 1人300円 ■申込期限 12月6日(金) ■申込先・問い合わせ 大通地区公民館 ☎362・1491

渡辺欣次・画「雪晴れ」▲

催 スキー映画上映、大抽選会 スキー映画の夕べへ お出掛けください

スキー映画上映と、スキーグッズ、リフト券、宿泊券などが当たる大抽選会が行われます。お誘い合わせてお出掛けください。

■とき 12月8日(日) 午後7時30分～
■ところ 青年教育センター ■チケット 教育センターで販売しています 前売り券=400円 当日券=600円 ■問い合わせ 青年教育センター ☎373・2800

催 白根地区公民館 '97カレンダー展へ お出掛けください

白根地区公民館では、家庭や事業所などから提供いただいたカレンダーを展示するカレンダー展を開催。芸術性あふれるカレンダーの数々をご覧ください。期間中、投票を行い、終了後に希望するカレンダーをプレゼントします(希望多数の場合は抽選)。ぜひお出掛けください。また家庭や事業所で余分なカレンダーがありましたら、12月13日(金)まで提供ください。

■とき 12月20日(金)～24日(火) 午前9時～午後7時(24日は午後2時)
■ところ 中央公民館 ■問い合わせ 同館 ☎373・3174

予 県立青少年研修センター 平成9年度の予約を受け付けます

■予約受付開始 12月2日(月)の午前9時～ ■利用できる団体 ①小学生・中学生・高校生・大学生 ②青少年団体およびサークル ③青少年指導者、教員、青少年育成団体 ■申込先・問い合わせ 県立青少年研修センター(巻町越前浜) ☎0256・77・2111

講 大通地区公民館 版画で年賀状を作ろう

版画で年賀状を作る、版画体験講座を開催します。今年の年賀状はあなただけのオリジナルを作りませんか。描きたい絵を持ってくれば、その場で版画にすることもできます。上達すれば多色刷りも可能。この機会に、ぜひ



千野茂氏 ふるさとを語る

好評、ふるさとの人とまち講座 十一月七日、青年教育センターで白根市出身の日本を代表する彫刻家、千野茂氏(東京芸術大学名誉教授)が「私の歩み、彫刻への道」と題して、郷土の思い出と彫刻家としての自らの人生を語りました。

これは好評を博している中央公民館主催の「ふるさとの人とまち講座(全五回)」の最終講座のこと。

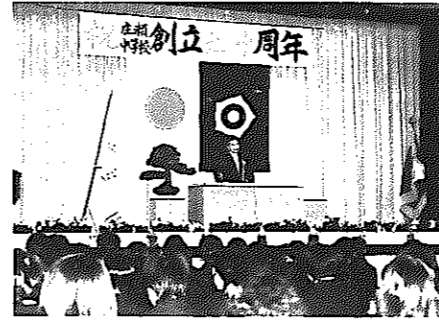
千野氏は旧新飯田村の出身。幼いころから絵をかくのが大好き。上京し、独学で彫刻の修練を重ね、昭和十七年の院展初入選を機に、一気に日本の彫刻界の表舞台に登場。その後の氏の足取りは日本の彫刻の歴史そのものという感じです。「今度は同郷の長井亮之さんと二人展でも」と、にっこり笑う顔に大きな拍手が。

歴史を回顧、将来へ決意新た 庄瀬中・新飯田中創立50周年記念式典

みのりよき沃野讃えて、ふるさとのこころつたえん。故サトウハチロー氏が「庄瀬の子供たちのために」と作詞した校歌のこと、古き伝統に支えられる庄瀬中学校の創立五十周年記念式典が十一月二日、同校で開催されました。式典には旧職員、PTA、在校生ら約三百人が出席。半世紀にわたる歴史を振り返りました。

あいさつに立った鈴木邦寿校長は「学区に生活するみんなが安心して心を寄せる場である学校が、五十年も続いてきたことを地域挙げて喜び、祝うとき」と式典の意義を確認。将来へ向け決意を新たにしました。

故サトウハチロー氏が同校の校歌を作ったのは昭和三十一年。当時の在校生と電車の中で知り合い、親交を深めたのがきっかけでした。



▲庄瀬中学校創立50周年記念式典



▲新飯田中学校創立50周年記念式典

戦後間もなく、新飯田中学校に併設する形で開校した同校も、第一回の卒業生十七人から数えて、二千九十六人の卒業生を送り出してきました。佐野取五校長は「地域の人が意欲に燃えて学校を創設してから五十年、在校生の皆さんも先輩の残した校風をしっかり受け継ぎ、生徒像である『心優しい生徒』を再認識し、実現してほしい」と語り掛けました。

式典後、同校出身の名ピアノスト、小杉真一さんも駆けつけ、記念演奏を披露。花を添えました。

一週間の十日、新飯田中学校でも創立五十周年記念式典が挙行され、生徒、職員、地域住民らが出席し、同校の歴史を讃えました。

校歌制定までの一風変わったエピソード、関係者の談話などが披露され、出席者は母校の歴史、伝統の重みをかみしめていました。

総合計画のあらましを学習



十月五日、大通地域生活センターで、「白根市の将来像について」と題し、市役所企画財政課職員を呼んでの行政出前講座が開かれました。今回の講座生となったのは、わくわく大通っ子クラブ親の会の皆さん。同会の月一回の集いに合わせて開催されたものです。

講座では職員が第四次総合計画のあらましについて説明。参加した父母からは「行政用語など若干難しい面もあったが、文字で読むよりも直接聞いた方がやはり分かりやすい」などの声が聞かれました。

秋の夜長は、クラシックの名曲で



十一月四日、大通地区公民館でオータムコンサートが開かれました。このコンサートは、同地区文化祭の催しの一つとして三年前から行われているもの。第一部では、大通ギターサークルの皆さんが三曲を演奏し、日ごろの練習の成果を発表。第二部では、バイオリニストの鈴木和子さんを迎えて演奏会が開かれました。鈴木さんは「ユーモレスク」など有名なクラシック九曲を演奏。訪れた人は「間近で聴け、息遣いまでが伝わってきて良いですね」と楽しそうに聞き入っていました。